

顧客満足度分析による現状居住環境評価と 将来定住意向評価の要因比較

中村 紘喜¹・鈴木 聡士²

¹学生会員 北海学園大学修士課程 大学院工学研究科 (〒064-0926 北海道札幌市中央区南26条西11丁目1-1)
E-mail:nakamurakun2720@yahoo.co.jp

²正会員 北海学園大学教授 工学部生命工学科 (〒064-0926 北海道札幌市中央区南26条西11丁目1-1)
E-mail: soushi-s@lst.hokkai-s-u.ac.jp

本研究は、北広島市において実施された住民アンケート結果を基に、顧客満足度分析を用いて、現状の居住環境の評価における重要要因と将来の定住意向の評価における重要要因、ならびに改善重要度を比較し、その特性や差異を明らかにした。その結果、現状の居住環境評価と比較して、将来定住意向評価では医療環境や公共交通の充実などの項目の重要度および改善度が上昇することが明らかとなった。これは、高齢化に伴うライフスタイルの変化への対応を求めていることが理由であると推察された。特に、公共交通に関しては、大都市周辺の中小都市に共通した課題であり、その整備・充実は将来的な人口流出を防ぐために重要な一方策であることが示唆された。

Key Words : *customer satisfaction analysis, residential environment of present situation, settlement intention in the future, Kitahirosima city*

1. 背景と目的

近年、将来的な人口流出・人口減少に伴う地方都市の衰退が問題視されている。国立社会保障・人口問題研究所は、2010年現在において約1億2千万人いる日本の人口が、2060年時点で約8千7百万人にまで減少すると推計している。特に北海道は、5,506千人から2040年時点で4,190千人に減少すると推計されており¹⁾、実減少人口数は全国2位である。また「日本創成会議」は、北海道内186市区町村（札幌市は区ごとに推計）中、84市区町村は2010年から2040年までの間に20～39歳までの女性の人口変化率が5割以上減少する「消滅可能性都市」であると推計している²⁾。

人口流出に伴う人口減少と都市の衰退を防ぐためには、その土地に留まる定住者を増加させ、維持することが重要であり、住民の定住意向に関する要因を把握することが必要である。このような定住意識要因に関するの既存研究として、小塚³⁾は国内49都市を対象にアンケートを行い、「住み続けたい」という意向に影響を与える被験者の個人属性や地区環境の要因を、数量化理論Ⅱ類を用いて分析している。また、土肥ら⁴⁾は生活利便性およびコミュニティと、定住意識の関連につ

いて論じている。いずれの研究も大都市あるいは中核都市を対象としているが、人口減少が急速に進むとされている地方中小都市は対象とされていない。また、定住意向に関する要因の分析はなされているものの、現状の居住環境の評価（以下、現状評価）における重要要因と、将来にわたる定住意向の評価（以下、定住評価）における重要要因の差異、およびそれらの改善重要度の差異や特徴を示したものは見受けられない。

そこで本研究は表-1に示すとおり、札幌市周辺の地方中小都市の中でも、減少率が1位であると推計⁵⁾されている北海道北広島市を対象とし、顧客満足度分析（Customer Satisfaction 分析：CS分析）により、現状評価における重要要因と定住評価における重要要因、および各要因の改善度とそれらの差異や特徴を把握し、大

表-1 札幌市周辺の中小都市における将来人口推計

都市	人口 (2040) [人]	実減少 人口数 [人]	減少率
北広島市	46,784	13,569	22.48%
千歳市	88,678	4,926	5.26%
恵庭市	63,053	6,331	9.12%
石狩市	46,564	12,885	21.67%
江別市	96,503	27,219	22.00%

都市周辺の中小都市の将来的な人口流出に伴う人口減少を軽減させるための政策的な示唆を得ることを目的とする。

なお、本研究では北広島市が2014年9月に実施した、今後のまちづくりのための方針や課題把握を目的とした住民アンケート⁹⁾の結果を用いて分析を行う。

2. 分析手順

本研究のフローを図-1に示す。

3. 北広島市における住民アンケート

北広島市における住民アンケートの概要を表-2に示す。

本研究では回収されたサンプル1,297件の内、現状評価に対する質問および将来評価に関する質問に対し、無回答あるいは「わからない」と一項目でも回答した被験者を除いた、完全回答363件を有効サンプルとして分析に用いる。

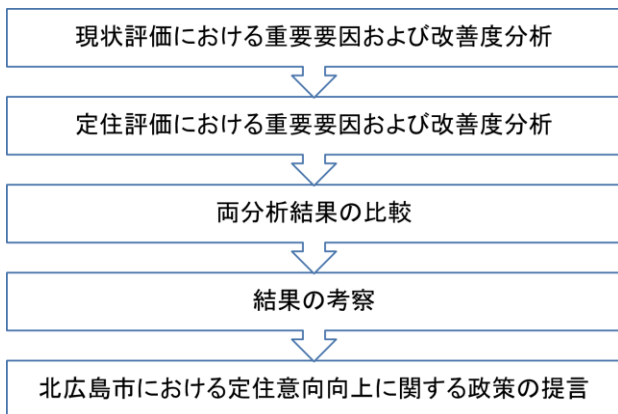


図-1 分析フロー

表-2 アンケート概要

実施期間	2014年9月11日～30日
対象地域	北広島市在住の18歳以上の男女3,000人(無作為抽出)
調査方法	郵送調査法、自記式
調査項目	・現状の住みよさ ・将来的な定住意向 ・施策の現状評価 ・個人属性
サンプル数	配布数: 3,000件 回収数: 1,297件(回収率: 42.6%) 有効サンプル数: 363件

4. CS分析による重要要因および改善度の分析

本分析において、図-2示すアンケート項目の問9を現状評価の目的変数、問10を定住評価の目的変数とし、表-3に示す項目を説明変数としてCS分析を行う。

また、問9は「5.わからない」を除いた4段階、問10は「6.わからない」を除き、「3.札幌市に移りたい」と「4.札幌市以外の道内に移りたい」を「道内移住意向」としてまとめた4段階とした。

(1) 重要度分析結果の比較

表-3は「現状評価」と「定住評価」における各評価項目の重要度(相関係数)を降順で示し、大きく順位が変化した項目の内、特に注目すべき項目は同一の色で評価要因を色付けしている。

表-3より、以下のことが考察される。

- ① 現状評価では有意とされた、
 - 「7.災害に強い安全なまちの形成」
 - 「10.大気汚染、水質汚濁などの公害対策の充実」
 - 「30.市の歴史や文化に対する意識の浸透」
 - 「32.自然や地域、社会など様々な体験機会の充実」
 - 「33.豊かな学校生活を支える施設・設備の充実」
 の5項目は、定住評価においては有意ではないということがわかった。
- ② 各評価結果における相関係数の順位を比べると、
 - 「5.利便性の高い公共交通の充実」
 - 「15.医療環境の充実」
 - 「17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成」
 - 「41.町内会・自治会による地域活動の充実」
 の順位が定住評価において大きく上昇していることがわかった。

問9 あなたは、あなたがお住まいの地域の住み良さを、どのように感じていますか。

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 住み良い | } 問9-①へ |
| 2. どちらかと言えば住み良い | |
| 3. どちらかと言えば住みにくい | } 問9-②へ |
| 4. 住みにくい | |
| 5. わからない | → 問10へ |

問10 【すべての方におたずねします】

あなたは、これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思えますか

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | } 問11へ |
| 2. 市内の別の場所に移りたい | |
| 3. 札幌市に移りたい | } 問10-①へ |
| 4. 札幌市以外の道内に移りたい | |
| 5. 道外に移りたい | |
| 6. わからない | → 問11へ |

図-2 目的変数項目

表-3 「現状評価」と「定住評価」における各評価項目の重要度

評価項目	現状評価		評価項目	定住評価	
	相関係数	有意水準		相関係数	有意水準
25.日常の買い物環境の充実	0.3790	**	5.利便性の高い公共交通の充実	0.3592	**
47.民間委託の推進による行政経費の抑制	0.3513	**	25.日常の買い物環境の充実	0.2748	**
20.子供を健全に育成するための環境の充実	0.3495	**	15.医療環境の充実	0.2747	**
13.公共施設の充実と活用	0.3468	**	50.職員数の削減や人件費抑制	0.2605	**
6.利便性の高い公共交通の充実	0.3451	**	47.民間委託の推進による行政経費の抑制	0.2542	**
21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実	0.3368	**	51.職員の意識改革による職員の資質向上	0.2512	**
35.生涯学習活動の機会の充実	0.3246	**	17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成	0.2497	**
51.職員の意識改革による職員の資質向上	0.3243	**	13.公共施設の充実と活用	0.2296	**
9.森林や川など自然環境の保全	0.3211	**	24.安定した雇用の場の確保	0.2273	**
31.小中学校における教育内容の充実	0.3180	**	41.町内会・自治会による地域活動の充実	0.2270	**
33.豊かな学校生活を支える施設・設備の充実	0.3177	**	48.市民などの協働による行政サービスの範囲の見直し	0.2221	**
44.市民の意見の収集と姿勢への反映	0.3147	**	1.安全、快適に移動できる道路の充実	0.2179	**
48.市民などの協働による行政サービスの範囲の見直し	0.3116	**	36.品揃え豊富な小売店の充実	0.2093	**
1.安全、快適に移動できる道路の充実	0.3072	**	44.市民の意見の収集と姿勢への反映	0.2030	**
19.乳幼児を安心して育てられる環境の充実	0.2977	**	20.子供を健全に育成するための環境の充実	0.1957	**
40.市民、企業、行政、各種団体との協働によるまちづくりの推進	0.2971	**	22.企業誘致や産業育成などによる市内企業の拡大	0.1956	**
17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成	0.2948	**	23.地域の企業をけん引する企業の集積	0.1926	**
26.品揃え豊富な小売店の充実	0.2913	**	43.姿勢に関する情報発信の充実	0.1890	**
9.性別に関係なく社会参加できる環境の充実	0.2881	**	21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実	0.1844	**
4.公園・緑地の充実したまち並みの形成	0.2819	**	14.健康づくりを推進する体制の充実	0.1836	**
50.職員数の削減や人件費抑制	0.2753	**	16.緊急時の救急医療体制の充実	0.1833	**
8.街路灯など防犯設備・体制の充実	0.2735	**	12.市街地の形成・景観の充実	0.1815	**
34.家庭、学校、地域が連携した教育体制の充実	0.2725	**	4.公園・緑地の充実したまち並みの形成	0.1809	**
22.地域の企業をけん引する企業の集積	0.2714	**	34.家庭、学校、地域が連携した教育体制の充実	0.1774	**
29.芸術や文化に触れ親しむ機会の充実	0.2673	**	21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実	0.1730	**
43.姿勢に関する情報発信の充実	0.2651	**	18.障がい者が地域で自立した生活ができる社会の形成	0.1703	**
38.市、地域、大学が連携した活動の充実	0.2643	**	35.生涯学習活動の機会の充実	0.1672	**
12.市街地の形成・景観の充実	0.2595	**	19.乳幼児を安心して育てられる環境の充実	0.1621	**
23.企業誘致や産業育成などによる市内企業の拡大	0.2591	**	3.衛生的な上下水道の整備	0.1619	**
15.医療環境の充実	0.2578	**	40.市民、企業、行政、各種団体との協働によるまちづくりの推進	0.1594	**
18.障がい者が地域で自立した生活ができる社会の形成	0.2562	**	29.芸術や文化に触れ親しむ機会の充実	0.1589	**
24.安定した雇用の場の確保	0.2541	**	38.市、地域、大学が連携した活動の充実	0.1516	**
2.除雪や排雪の充実	0.2524	**	9.森林や川など自然環境の保全	0.1492	**
39.自主的な市民活動の充実	0.2464	**	36.図書活動に親しむ機会や環境の充実	0.1487	**
3.衛生的な上下水道の整備	0.2330	**	49.公共施設の有料化などの受益者負担の導入	0.1484	**
7.災害に強い安全なまちの形成	0.2255	**	8.街路灯など防犯設備・体制の充実	0.1449	**
10.大気汚染、水質汚濁などの公害対策の充実	0.2144	**	11.多様なニーズに対応する住宅供給の充実	0.1443	**
11.多様なニーズに対応する住宅供給の充実	0.2140	**	31.小中学校における教育内容の充実	0.1426	**
37.スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実	0.2088	**	2.除雪や排雪の充実	0.1415	**
46.地町村との交流による広域連携の推進	0.2033	**	42.性別に関係なく社会参加できる環境の充実	0.1401	**
41.町内会・自治会による地域活動の充実	0.1961	**	46.地町村との交流による広域連携の推進	0.1350	*
6.ごみ減量・リサイクル意識の浸透	0.1909	**	28.地域資源を有効活用した観光産業の充実	0.1342	*
16.緊急時の救急医療体制の充実	0.1885	**	6.ごみ減量・リサイクル意識の浸透	0.1236	*
30.市の歴史や文化に対する意識の浸透	0.1849	**	39.自主的な市民活動の充実	0.1218	*
36.図書活動に親しむ機会や環境の充実	0.1713	**	7.災害に強い安全なまちの形成	0.1028	**
49.公共施設の有料化などの受益者負担の導入	0.1700	**	10.大気汚染、水質汚濁などの公害対策の充実	0.0936	**
28.地域資源を有効活用した観光産業の充実	0.1699	**	32.自然や、地域、社会など様々な体験機会の充実	0.0918	**
14.健康づくりを推進する体制の充実	0.1663	**	33.豊かな学校生活を支える施設・設備の充実	0.0884	**
32.自然や、地域、社会など様々な体験機会の充実	0.1034	*	30.市の歴史や文化に対する意識の浸透	0.0709	**
45.国際交流の推進	0.0984	**	27.活気ある農業の振興	0.0571	**
27.活気ある農業の振興	0.0892	**	45.国際交流の推進	0.0209	**

③ 逆に、
 「20.子供を健全に育成するための環境の充実」
 「21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実」
 「35.生涯学習活動の機会の充実」
 「9.森林や川など自然環境の保全」
 「31.小中学校における教育内容の充実」
 の順位および相関係数は、定住評価において大きく低下していることがわかる。

(2) 改善度分析結果の比較

表-4は「現状評価」と「定住評価」における各評価項目の改善度を降順で示した結果である。表-3と同様に、「現状評価」と「定住評価」において改善度の順位が大きく変化した項目の内、特に注目すべき項目は同一色で評価要因を色付けしている。

表-4より以下のことがわかる。

①現状評価と比較して、
 「5.利便性の高い公共交通の充実」
 「15.医療環境の充実」
 「17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成」
 「24.安定した雇用の場の確保」
 の改善度が定住評価において大きく上昇している。
 ② 逆に、
 「21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実」
 「31.小中学校における教育内容の充実」
 「35.生涯学習活動の機会の充実」
 「40.市民、企業、行政、各種団体との協働によるまちづくりの推進」
 の改善度は定住評価において大きく低下していることがわかる。

表4 「現状評価」と「定住評価」における各評価項目の改善度

現状評価項目	改善度
47.民間委託の推進による行政経費の抑制	14.99
21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実	12.87
48.市民などとの協働による行政サービスの範囲の見直し	12.50
44.市民の意見の収集と姿勢への反映	11.80
40.市民、企業、行政、各種団体との協働によるまちづくりの推進	10.75
51.職員の意識改革による職員の資質向上	9.25
31.小中学校における教育内容の充実	9.19
35.生涯学習活動の機会の充実	8.97
42.性別に関係なく社会参加できる環境の充実	7.85
33.豊かな学校生活を支える施設・設備の充実	7.07
20.子供を健全に育成するための環境の充実	6.03
50.職員数の削減や人件費抑制	5.40
25.日常の買い物環境の充実	5.38
17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成	5.28
19.乳幼児を安心して育てられる環境の充実	5.16
34.家庭、学校、地域が連携した教育体制の充実	4.44
24.安定した雇用の場の確保	4.21
38.市、地域、大学が連携した活動の充実	3.92
39.自主的な市民活動の充実	3.69
13.公共施設の充実と活用	3.42
43.姿勢に関する情報発信の充実	3.22
18.障がい者が地域で自立した生活ができる社会の形成	3.10
15.医療環境の充実	3.09
26.品揃え豊富な小売店の充実	2.90
5.利便性の高い公共交通の充実	1.48
22.地域の企業をけん引する企業の集積	1.43
46.他市町村との交流による広域連携の推進	0.71
2.除雪や排雪の充実	-0.44
28.地域資源を有効活用した観光産業の充実	-0.81
11.多様なニーズに対応する住宅供給の充実	-1.21
23.企業誘致や産業育成などによる市内企業の拡大	-1.49
49.公共施設の有料化などの受益者負担の導入	-1.54
8.街路灯など防犯設備・体制の充実	-2.40
12.市街地の形成・景観の充実	-2.59
16.緊急時の救急医療体制の充実	-2.69
30.市の歴史や文化に対する意識の浸透	-3.10
29.芸術や文化に触れ親しむ機会の充実	-3.53
9.森林や川など自然環境の保全	-4.91
7.災害に強い安全なまちの形成	-5.20
45.国際交流の推進	-5.72
41.町内会・自治会による地域活動の充実	-6.51
14.健康づくりを推進する体制の充実	-6.65
1.安全、快適に移動できる道路の充実	-7.95
37.スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実	-9.17
10.大気汚染、水質汚濁などの公害対策の充実	-9.33
27.活気ある農業の振興	-9.54
32.自然や、地域、社会など様々な体験機会の充実	-9.96
4.公園・緑地の充実したまち並の形成	-12.41
6.ごみ減量・リサイクル意識の浸透	-13.60
3.衛生的な上下水道の整備	-15.93
36.図書活動に親しむ機会や環境の充実	-19.95

定住評価項目	改善度
47.民間委託の推進による行政経費の抑制	14.75
15.医療環境の充実	12.89
24.安定した雇用の場の確保	12.64
48.市民などとの協働による行政サービスの範囲の見直し	12.43
50.職員数の削減や人件費抑制	12.33
51.職員の意識改革による職員の資質向上	10.50
5.利便性の高い公共交通の充実	9.77
17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成	8.51
44.市民の意見の収集と姿勢への反映	8.13
40.市民、企業、行政、各種団体との協働によるまちづくりの推進	4.75
25.日常の買い物環境の充実	4.71
43.姿勢に関する情報発信の充実	4.46
21.子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実	4.14
16.緊急時の救急医療体制の充実	3.46
34.家庭、学校、地域が連携した教育体制の充実	3.16
26.品揃え豊富な小売店の充実	2.99
41.町内会・自治会による地域活動の充実	2.89
18.障がい者が地域で自立した生活ができる社会の形成	2.89
49.公共施設の有料化などの受益者負担の導入	2.54
28.地域資源を有効活用した観光産業の充実	2.18
22.地域の企業をけん引する企業の集積	1.95
35.生涯学習活動の機会の充実	1.94
13.公共施設の充実と活用	1.52
46.他市町村との交流による広域連携の推進	1.49
42.性別に関係なく社会参加できる環境の充実	1.29
38.市、地域、大学が連携した活動の充実	1.27
20.子供を健全に育成するための環境の充実	1.06
14.健康づくりを推進する体制の充実	0.99
19.乳幼児を安心して育てられる環境の充実	0.43
39.自主的な市民活動の充実	0.35
31.小中学校における教育内容の充実	0.30
23.企業誘致や産業育成などによる市内企業の拡大	0.15
11.多様なニーズに対応する住宅供給の充実	-0.45
12.市街地の形成・景観の充実	-2.02
37.スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実	-2.09
2.除雪や排雪の充実	-2.71
33.豊かな学校生活を支える施設・設備の充実	-5.00
32.自然や、地域、社会など様々な体験機会の充実	-5.26
30.市の歴史や文化に対する意識の浸透	-6.07
29.芸術や文化に触れ親しむ機会の充実	-6.10
45.国際交流の推進	-6.42
27.活気ある農業の振興	-6.66
8.街路灯など防犯設備・体制の充実	-7.57
1.安全、快適に移動できる道路の充実	-8.00
7.災害に強い安全なまちの形成	-8.24
6.ごみ減量・リサイクル意識の浸透	-11.94
36.図書活動に親しむ機会や環境の充実	-12.11
10.大気汚染、水質汚濁などの公害対策の充実	-12.67
9.森林や川など自然環境の保全	-12.85
4.公園・緑地の充実したまち並の形成	-13.86
3.衛生的な上下水道の整備	-14.74

5. 結果の考察

(1) 定住意向に関する相関係数および改善度の考察

前章(1)より、定住評価においては、「15.医療環境の充実」、「5.利便性の高い公共交通の充実」の相関係数が現状評価よりも上昇していることから、自身が高齢になった時に安心して暮らせる医療・交通環境の整備を望んでいることがわかる。

また、「20.子供を健全に育成するための環境の充実」「21.子育てと仕事両立可能な社会環境の充実」

「31.小中学校における教育内容の充実」の相関係数が大きく下がり、「5.利便性の高い公共交通の充実」の相関係数が定住評価で1位になっていることから、将来的な子育ての終了や、自家用車の運転が困難となる等の、ライフスタイルの変化への対応を求めていることがわ

かる。この結果と前章(2)の改善度を比較すると、「5.利便性の高い公共交通の充実」「15.医療環境の充実」

「17.高齢者が安心して暮らせる社会の形成」の3要因の相関係数が高くかつ、改善重要度が高い。つまり、将来的にこの3要素に対し、何らかの対策を実施しなければ、将来的な定住に対する不安要素となり、人口減少が加速する可能性がある。

(2) 北広島市および類似周辺中小都市における定住意向向上に関する提言

前項において特に注視すべき項目は「5.利便性の高い公共交通の充実」である。北広島市は、町の形と駅の配置から、JRが利用可能な地域が限られており、多くの住民が移動を自家用車に頼っている状況にある。

表-5 札幌市及び周辺中小都市の自家用車保有台数

	世帯当たり 自家用車保有台数	一人当たり 自家用車保有台数
札幌市	0.91	0.44
北広島市	1.22	0.55
千歳市	1.32	0.65
恵庭市	1.21	0.55
石狩市	1.30	0.59
江別市	1.10	0.50

表-5は、平成25年現在の自家用車保有状況（北海道運輸局の公開する保有車両数統計データの内、乗用普通車、乗用小型車、小型二輪車、および、軽自動車の内、乗用車、二輪車を各家庭において私的に利用する自家用車として算出した）を示しているが、市内の公共交通が充実している札幌市の世帯当たり自家用車保有台数が1台を下回っていることに対し、北広島市は各世帯が平均1.22台保有している⁷⁾⁸⁾⁹⁾と算出された。

この算出結果は表-5に示すとおり、北広島市以外の札幌市周辺の中小都市においても類似した現状⁷⁾¹⁰⁾¹¹⁾¹²⁾¹³⁾にあるため、将来的に自家用車の運転が困難となったとき、公共交通の充実している札幌市などに流出することが懸念されることから、公共交通、特に路線バスの維持方策の検討が重要である。

謝辞：本研究の分析を実施するにあたり、北広島市企画財政部の川村祐樹次長、加藤丈博主査、杉原史惟主任には、データ提供などにおいてご協力いただいた。記してここに謝意を表する。

参考文献

1) 国立社会保障・人口問題研究所：男女年齢各歳別人口（出生中位・志望中位）推計，2012.1
<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/newest04/sh2401smm.html>

2) 日本創成会議：全国市区町村別「20～39歳女性」将来人口推計

<http://www.policycouncil.jp/>

3) 小塚みすず：定住意識に影響を与える個人属性および地区環境の要因に関する研究，日本都市計画学会都市計画報告集 No.7, p91-95, 2009.2

4) 土肥博至・若林時郎：住民の居住環境評価と定住意識の関連についての考察，第21回日本都市計画学会学術研究論文集, p49-54, 1986

5) 国立社会保障・人口問題研究所：男女・年齢（5歳）階級別データ『日本の地域別将来推計人口』，2013.3

<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson13/3kekka/Municipalities.asp>

6) 株式会社北海道二十一世紀総合研究所：北広島市総合計画基礎調査業務委託平成26年度業務実施報告書，2015.3

7) 北海道運輸局：市町村別保有車両数年報札幌運輸支局管内，2014.3

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/touroku/04_siryou_toukei/toukei.html

8) 札幌市推計人口：過去データ平成22年～26年各月1日現在，2014.4

<https://www.city.sapporo.jp/toukei/jinko/suikai-jinko/suikai-jinko.html>

9) 北広島市：人口動態，2015.6

<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000670.html>

10) 千歳市人口統計一覧：市内人口世帯集計表平成27年7月1日現在，2015.7

<http://www.city.chitose.hokkaido.jp/index.cfm/94.21878.160.822.html>

11) 恵庭市：人口の推移平成8年1日末～平成27年6月末，2015.6

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1367370308475/index.html>

12) 石狩市石狩市の人口（平成26年）：住民基本人口台帳人口世帯集計表（平成26年3月末現在），2014.7

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/shimin/608.html>

13) 江別市：平成26年毎月の人口平成26年4月1日現在，2014.4

<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/shimin/12601.html>

FACTOR COMPARISON OF RESIDENTIAL ENVIRONMENT OF PRESENT SITUATION AND SETTLEMENT INTENTION IN THE FUTURE BASED ON CUSTOMER SATISFACTION ANALYSIS

Hiroki NAKAMURA, Soushi SUZUKI